



FUJIFILM Healthcare Europe が欧州の給与計算システムを変革



分散していたネットワークを一元化し
整合性のある成果を実現

FUJIFILM Healthcare Europe は、グローバル展開の計画の一環として Hitachi Medical Systems Europe を買収して誕生した、医療用画像診断ソリューションを通じて医療従事者の支援に注力している企業です。超音波や MRI CT 装置など、がんの早期発見に向けた技術開発に重点を置き、顧客のニーズと患者の健康を第一に考えた人間中心の革新的な設計開発を行っています。

10 カ国に 300 人以上の従業員を抱える同社は、欧州での給与計算を標準化することがメリットをもたらし、組織全体で公平性と透明性を守る上で重要であることを実感していました。

給与支払いの見直し

FUJIFILM Healthcare では、給与計算が現在でも非常に重要な業務です。しかし、より合理化された専門的なアプローチを取ることで、6 人の人事チームで 300 人の従業員の給与計算を効率的に管理できるようになりました。システムを統一し、それを支える知識基盤を活用することにより、同社はビジネスが急成長する中で、より包括的な HCM 報酬戦略の策定に注力できるようになりました。

概要

企業名: FUJIFILM Healthcare Europe

従業員数: 300 人以上

本社: スイス

製品: ADP Celergo®

業界: 医療用画像診断ソリューション

Mandy Muller、欧州人事担当責任者

FUJIFILM

「私たちは、ともに前進するための1社のベンダーを選びました。中核となる人事ソリューションとADPのソリューションをシームレスに統合した欧州の全体管理型のHCMソリューションで、ADPのサービスやサポートのメリットを享受したのです。」

Mandy Muller

欧州人事担当責任者

課題

ADPソリューションを導入するまで、FUJIFILM Healthcareには既存の人事データベースがなく、欧州人事担当責任者のMandy Muller氏はこれを変える必要があると認識していました。人事業務は地域ごとに管理され、財務担当者が扱うことが多く、従業員中心ではなくむしろ事務的に処理される傾向がありました。給与計算業務は地域ごとにまったく異なり、数多くの社外の業者が対応していて、その大半は小規模な会計事務所でした。2018年に財務業務の大部分をアウトソースする決定が下されたことで、給与計算はMandy氏ら人事チームが引き受ける必要が発生しました。

Mandy氏は「プロセスと一貫性が欠如していました。私の役割は従業員を事業の中心に据え直し、透明性を確保することで、全員が公平に扱われることを保証することです。そのためには一元化されたシステムが必要でした。」と振り返ります。

2020年に、年次の固定給見直しが行われた際、初めて地域間で不整合であることが明確になりました。報酬パッケージや福利厚生が地域で異なる中、人事チームは給与計算全体における真の透明性の追求に取り組み始めます。一元化されたシステムであるADP Celergoを採用したことで、一元管理された福利厚生プログラムを導入し、地域レベルでの誤解を防ぐことができるようになり、全従業員が公平に報酬を受けられる体制を実現しました。

ソリューション

スイスとイタリアのチームがすでにADPのソリューションを使用していたため、欧州のヘルスケア部門全体で切り替えを行うことは合理的な選択でした。場当たりのアプローチではなく、すべての拠点を包括的に扱えるソリューションを必要としていたことで、ADPのCelergoを選定するに至ります。欧州全体を扱う給与計算ソリューションの導入により、過去の異種システムが分散していた状況から脱却することができました。

Mandy Muller氏は、導入プロセスが必ずしも順調ではなく、両チームがプロセス中にコミュニケーションで苦戦していたことも率直に認めます。導入には困難が伴いましたが、Mandy氏はFUJIFILMの現行HCMプロジェクトであるiHCMの導入プロセスに、彼女自身のフィードバックが活かされたと強調しました。また、彼女がADPソリューションのもたらすメリットを積極的に支持していることが、その効果を物語っています。

結果

ADP Celergoの導入により、FUJIFILM Healthcareは1つの標準化された給与計算システムを構築し、各地域の誤解やばらつきを解消することができました。給与計算に複数のチームで対応するのではなく、専任のマネージャーを配置するようになったため、貴重な時間とリソースの余裕が生まれ、プロセスがさらに合理化されました。

「分散型モデルは望ましくないと考えました。50～100人の従業員を担当する給与計算マネージャーであれば、給与計算と並行して他の業務も行う必要があるでしょう。ADPのようなサードパーティを選ぶことで、常に最高水準の給与計算を実現しており、問題やミスから離れられました。現在は1人の給与計算マネージャーで9割の業務をこなしています。」

FUJIFILM Healthcareの人事改革において、給与計算はその最前線にあり続け、適切なHCMシステム構築の第一歩となりました。Mandy氏が指摘したように、もはや給与計算は以前のような負担ではなくなり、標準化された一元的な記録により、すべてが簡潔で明確になっています。Celergoの導入により給与計算の課題が解消し、監査から福利厚生まで、マネージャーと従業員の双方にとってシームレスな運用を実現しました。給与計算システムのアップグレードは、従業員にとっても申し分ないものであり、給与明細におけるセルフサービスシステムは大きな資産となっています。

ADPのソリューションにより、Mandy氏の人事チームは意思決定により強く関与できるようになり、一貫性も向上しました。最も重要な成果の一つが、欧州全体の事業における統合です。「以前は、各国で独自に運用を行っており、本社から切り離されているような感覚がありました。報酬システムを一元化したことが、従業員にヨーロッパチームの一員であるという実感を醸成しています。各地域でローカルのプレゼンスを持ちながらも、一つのユニットとして高い成果を上げることができているのです。」

体系的で一元化された給与計算システムにより、FUJIFILM Healthcareは給与計算を通じて強固な人事システム基盤を構築しました。同社は、iHCMを本格稼働し、人事チームが人材戦略に注力できる機会をもたらすことを心待ちにしています。

「ADPは導入プロジェクトを通して私たちと共に歩み、私たちの事業ニーズを理解するために時間を割いて、人事チームと従業員の双方にメリットをもたらす新しい人事ポータルを導入してくれました。多国間にまたがって一貫性のあるソリューションを探しているのであれば、Celergoが必要なものを提供してくれるでしょう。」

Mandy Muller
欧州人事担当責任者



Always Designing
for People®

ADPおよびADPロゴはADP, Inc.の登録商標です。
他のすべての商標はそれぞれの所有者の知的財産です。Copyright © 2026 ADP, Inc.

WF3466402

FUJIFILM